

公募企画セッション 2024年3月6日(水) 10:40-12:00

CNF/セルロース材料活用技術開発における ライフサイクルアセスメント等評価の役割

セッションの趣旨

カーボンニュートラルへ向かう社会において、セルロースナノファイバー(CNF)等のセルロース材料は、その由来が非化石であること、国産資源であることや、その比強度の高さをはじめとした従来材料と比べた高い材料特性から、今後の普及が期待される。一方、開発中の技術であることから、量産化後の生産性やリサイクル性を想定したり、原料、製法、用途ごとに異なると考えられる価値それぞれについて、環境性能・社会経済性能を可視化したりする必要がある。本セッションでは、CNF/セルロース材料の開発状況やそのライフサイクルアセスメント等の現状について報告し、社会実装に向けて、ライフサイクルアセスメント等評価が果たす役割や、今後必要となる評価の観点について議論する。

(講演)

矢野浩之(京都大学) セルロースナノファイバーによる樹脂補強
松田源一郎(Panasonic) セルロースファイバー複合樹脂リサイクルの LCA
尾下優子(東京大学) CNF 素材の社会経済性の評価手法について

(パネルディスカッション)

モデレーター

菊池康紀(東京大学)

パネル(五十音順)

尾下優子(東京大学)

小野幸胤(NEDO)

中野勝行(立命館大学)

原田久(ヤマハ発動機)

樋口海里(環境省)

松田源一郎(Panasonic)

矢野浩之(京都大学)

オーガナイザー: 斎木祐子(東京大学) ysaiki@utlca.u-tokyo.ac.jp